

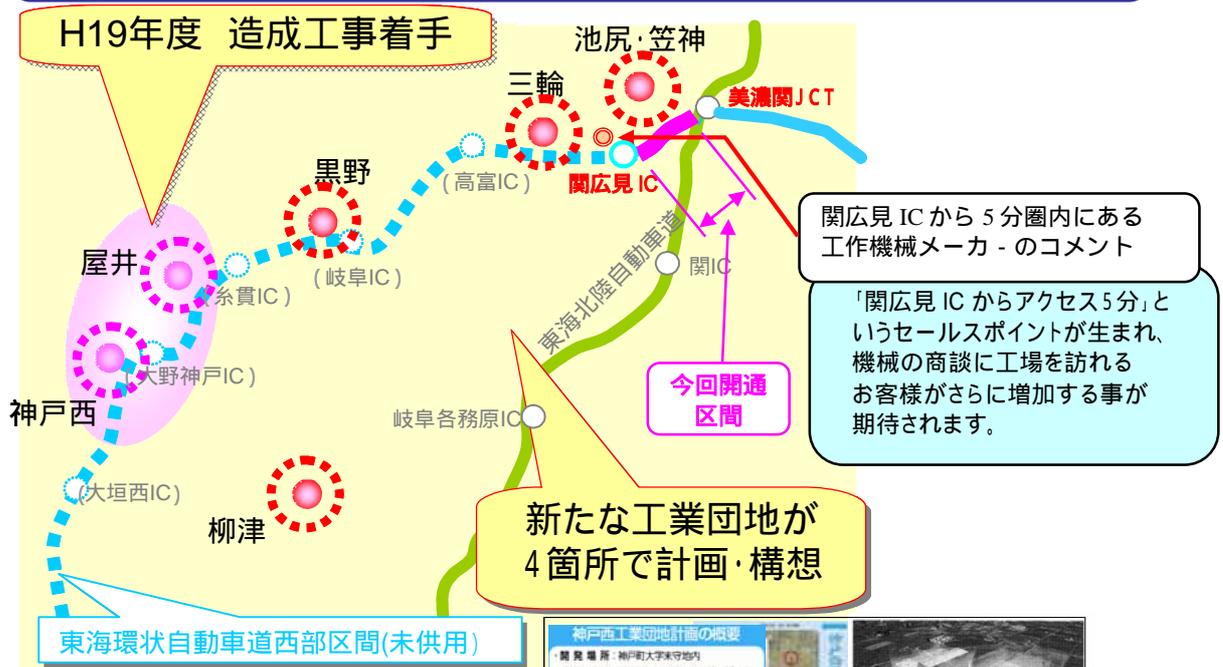
みのせき せきひろみ
美濃関 JCT から関広見 IC 間の開通により、東海環状自動車道が西側へ延伸します。
今後の西側の完成に大きな期待が寄せられています。

- ・今回の美濃関 JCT から関広見 IC 間の開通により、東海環状自動車道が西側へ延伸することになります。(豊田東 JCT から関広見 IC 間約 7.6 km のうち、豊田東 JCT から美濃関 JCT 間約 7.3 km は H17.3 に開通済み)
- ・これまでの東側開通により、岐阜県東濃地域等で工業団地の立地が大幅に増加しましたが、今後の西側の整備に合わせた工業団地計画も進行しており、地域産業の更なる活性化が期待されます。

東海環状自動車道の東側沿線に立地する工業団地の数は、開通 15 年前の 1990 年頃と比べて約 4 倍に増加しました。



東海環状自動車道の西側沿線に、H19 年度中に 2 箇所の工業団地が造成工事に着手、4 箇所で計画・構想が発表されています。



() 内 IC 名称は仮称

神戸西工業団地計画の概要

開発者：神戸大学東守地区内
 (主) 阪東興産(株) 池田町との境付近南側
 開発面積：約 7.5ha
 工業用地面積：約 6.0ha
 事業主体：神土地開発公社
 事業期間：平成 19 年度～平成 20 年度

出典：岐阜県神戸町HPより

〔中部経済新聞H20.6.26〕
 東海、あひつちで工場建設が進む
 「神戸西工業団地」(神戸町)

せき

関市西部の利便性が向上します。

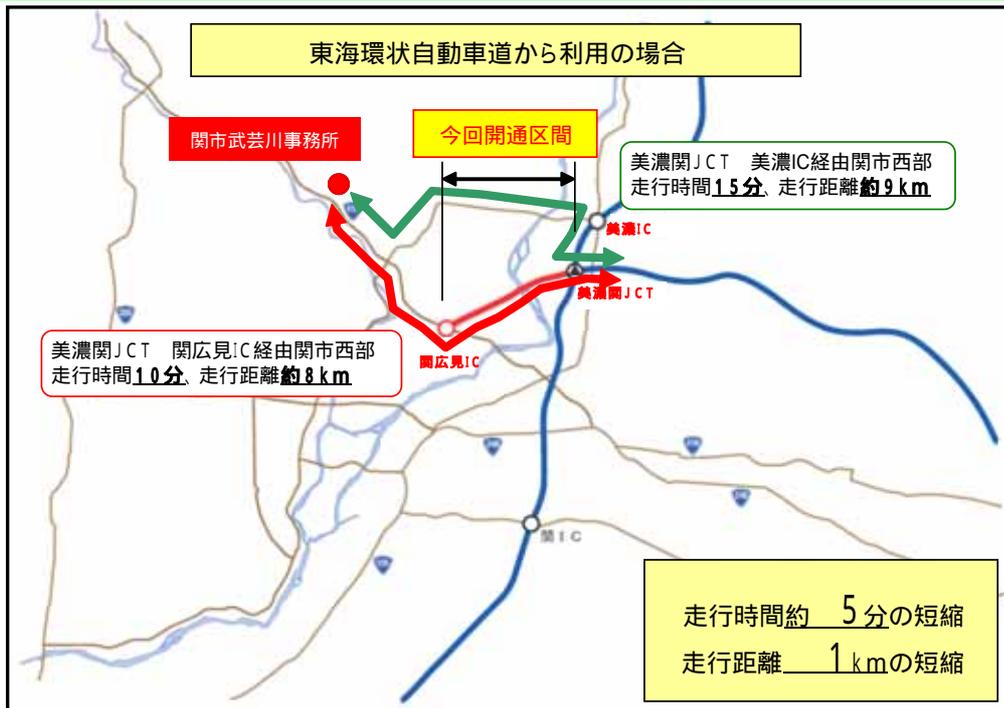
また、今後の西側整備に更なる期待が高まります。

みのせき

せきひろみ

美濃関JCTから関広見IC間の開通により、長良川を横断する新たな道路が誕生します。東海環状道を利用し関市西部へ行く場合、東海北陸道の美濃IC経由に比べて走行時間で約5分、走行距離で約1kmの短縮となります。また、東海北陸道名古屋方面から関ICを経由した場合と比べると、走行時間で約10分の短縮となります。

今後、西側が整備されることにより、更なる利便性の向上が期待されます。



所要時間の算定：開通区間は規制速度、東海北陸道及び一般道は走行実績値をもとに算出